

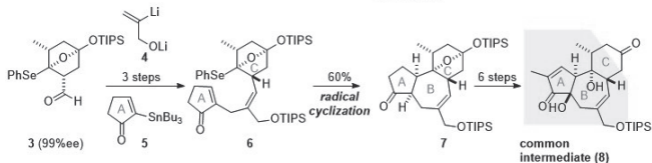
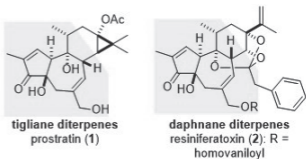
22L-am07S

チグリアン・ダフナンジテルペン類の網羅的合成研究

○荻野 公平¹, 廣瀬 哲¹, 長友 優典¹, 井上 将行¹ (¹東大院薬)

【目的】 チグリアン・ダフナンジテルペン類は、高度に酸素官能基化された共通の5/7/6縮環(ABC環)構造を有する。我々は、本天然物群の統一的合成経路の確立に向け、本天然物群に共通する3環性骨格を有する**8**を共通中間体として設計し、その合成を目指した。

【方法・結果】 市販化合物から8工程の変換によりC環フラグメント**3**を不斉合成した。得られた**3**に対し、3炭素ユニット**4**を導入した後、StilleカップリングによりA環フラグメント**5**を連結して**6**を合成した。続く**6**の橋頭位ラジカル環化反応を経て、ABC環炭素骨格を有する**7**を収束的に合成した¹⁾。さらにA/C環の官能基化を経て**3**から18工程で共通中間体**8**の合成を完了した。



1) Asaba, T.; Katoh, Y.; Urabe, D.; Inoue, M. *Angew. Chem. Int. Ed.* **2015**, *54*, 14.